



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社 エックスネット 上場取引所 東
 コード番号 4762 URL <https://www.xnet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新島 毅
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 上室 貴俊 TEL 03-5367-2201
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,461	8.1	211	△8.1	213	△7.8	135	△13.1
2026年3月期第1四半期	1,352	1.4	230	17.0	231	29.0	156	30.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	32.48	—
2026年3月期第1四半期	37.38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,903	3,271	55.4
2026年3月期	6,119	3,258	53.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,271百万円 2026年3月期 3,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	22.50	—	25.00	47.50
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2027年3月期 (予想) 配当金の内訳 第2四半期末 ベース配当25円00銭 エクストラ配当10円00銭
 期末 ベース配当25円00銭 エクストラ配当10円00銭

※当社は、配当をベース配当（基準配当）とエクストラ配当（追加配当）に分け、安定的な株主還元とBSM
 ネジメント強化の両立を目指す株主還元方針を掲げております。

3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,850	3.0	350	△29.3	350	△27.4	225	20.6	53.83
通期	5,800	2.5	700	△31.5	700	△30.8	450	△17.1	107.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	8,261,600株	2026年3月期	8,261,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,080,800株	2026年3月期	4,081,693株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,180,577株	2026年3月期1Q	4,179,930株

(注) 期末自己株式数には、当社の取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除きます。）、執行役員及び従業員を対象とする株式報酬制度の導入により採用した信託口が保有する当社株式（2027年3月期第1四半期799,100株）が含まれております。また、信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 売上高

当社は、社会的存在意義であるパーパスを「資産運用業界に新しい価値を生み出し、社会の今と未来を支える」と定めております。当社はパーパス実現に向け、資産運用管理ソリューション「XNETサービス」の提供を通じて、資産運用業界におけるあらゆる課題解決に貢献することで、よりよい社会の基盤作りと更なる発展を目指してまいります。

資産運用管理ソリューション「XNETサービス」は、大別して以下に区分されます。

- ・ アプリケーション：有価証券管理システムを中心としたXNETシステムの月額利用料を収益源とするサービス
- ・ AMO：XNETシステムに関する導入や保守、会計制度変更対応等の業務を請負うサービス
- ・ SO：XNETシステムを利用して、機関投資家の経理事務等の実務を受託し、効率的に集約、処理することで収益を獲得するサービス

これらのうち、アプリケーション、SOおよびAMOのなかで継続的なシステム保守サービスについては、当社の安定的な収益基盤を支えるコアサービス（コア売上）として捉え、より積極的にビジネス拡大を推進しております。

(アプリケーションの状況)

アプリケーションのうち、主力である有価証券管理システムについては、大手生命保険会社に対する有価証券バックシステムの提供開始などにより、引き続き堅調に推移しております。その他、融資管理システムについては、大手生命保険会社に対して外貨融資管理サービスの提供を開始したほか、新たに複数の地方銀行へもサービス提供を開始いたしました。また、個人向け信託管理システムについても導入社数が徐々に拡大するなど、アプリケーションは全体として堅調に推移しており、売上高としては前期比増収となりました。

(AMOの状況)

顧客である機関投資家においてIT人材が不足するなか、当社が長年蓄えてきた金融システム関連の知見およびサポート力が評価され、コア売上につながる継続保守案件（月額AMO）は引き続き拡大しております。また、比較的規模の大きい複数のシステム導入案件やシステム更改案件（スポットAMO）受注のほか、人財投資等によるコスト増を吸収するため単価の改定を進めたこと等もあり、AMOについては前期比増収を確保しております。

(SOの状況)

SOについては、投信・投資顧問会社向けサービスが引き続き堅調であるほか、生損保業界に対しても4社目のサービス提供を開始するなど徐々にサービス規模を拡大した結果、前期比増収となっております。生損保業界へのSO展開については、現在も複数の会社に対して導入準備を進めております。また、当社は2026年5月12日付けで、金融商品取引法に基づく「投資運用関係業務受託業（運用対象財産の評価額の計算に関する業務）」の登録を完了いたしました。資産運用立国の追い風も踏まえると、投信・投資顧問会社向けについても、更なるサービス規模拡大が見込まれます。

以上のような要因により、2027年3月期第1四半期（2026年4月1日から2026年6月30日まで）は、中核商品である「XNETサービス」の売上高が1,460百万円（前期比8.1%増）となり、機器販売等を含めた売上高は1,461百万円（前期比8.1%増）となりました。

当第1四半期の売上高の内訳は下表の通りです。

品目	2026年3月期第1四半期		2027年3月期第1四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
① XNETサービス	百万円 1,351	% 100.0	百万円 1,460	% 100.0	% 8.1
(①のうち、アプリケーション)	982	72.7	1,019	69.8	3.8
(①のうち、AMO・SO)	369	27.3	441	30.2	19.5
② 機器販売等	0	0	0	0	0
合計 (①+②)	1,352	100.0	1,461	100.0	8.1

また当社は、売上を以下の区分に分け、管理しております。

- ・ コア売上 : サブスクリプションモデルにより安定的に売上を確保できるセグメント
(対象サービス) アプリケーション、AMOサービス (月額)、SO
- ・ スポット売上 : コアを維持するために必要ではあるが、あくまで一過性の取引による売上
(対象サービス) AMO (スポット)

このうち、コア売上について、当社の安定的な収益基盤の確保につながるものと捉え、2026年6月10日付けで公表いたしました当期を開始年度とする中期経営計画「Next STEP 2029」のなかで、2030年3月期におけるコア売上高5,600百万円の達成を目標として掲げております。当第1四半期においては、アプリケーション・AMO・SOのいずれのサービスにおいても前期比増収を確保した結果、コア売上高1,271百万円 (前年同期比4.1%増) となり、総売上高に占める割合も87.0%と引き続き高水準を維持しております。

② 営業利益、経常利益、四半期純利益

当第1四半期の利益は、営業利益211百万円 (前年同期比8.1%減)、経常利益213百万円 (前年同期比7.8%減)、四半期純利益135百万円 (前年同期比13.1%減) となり、売上高営業利益率は14.5%となりました。

当第1四半期においては、社員の賃金改善による労務費の増加が影響し減益となりましたが、これは中期経営計画に掲げる人財投資戦略の実行による、計画通りの結果となります。

また、中期経営計画「Next STEP 2029」のなかで、営業利益に人財投資額 (人件費) とシステム投資額 (減価償却費) を加算して算出する調整後営業利益を新たに経営指標に定め、2030年3月期における調整後営業利益3,800百万円の達成を目標として掲げておりますが、当第1四半期の調整後営業利益は898百万円 (前年同期比7.8%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、主に売掛金の減少により前期末比216百万円減の5,903百万円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等の減少により前期末比228百万円減の2,632百万円となりました。

純資産につきましては、135百万円の四半期純利益の計上と124百万円の剰余金の配当により、前期末比12百万円増の3,271百万円となり、自己資本比率は55.4% (前期末53.2%) となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の経営成績は概ね予想通りの水準となり、今後も予想通りの水準を達成すると見ております。

この結果、2027年3月期の業績予想は、第2四半期累計期間、通期ともに2026年4月30日公表の決算短信記載の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期会計期間 (2026年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,937	1,109,742
売掛金	481,913	315,918
契約資産	45,992	111,024
前払費用	47,885	57,391
その他	7,687	6,925
流動資産合計	1,772,415	1,601,001
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,654	92,654
減価償却累計額	△52,339	△53,345
建物（純額）	40,315	39,309
工具、器具及び備品	246,626	246,979
減価償却累計額	△202,246	△205,886
工具、器具及び備品（純額）	44,380	41,093
機械装置及び運搬具	11,580	11,580
減価償却累計額	△137	△551
機械装置及び運搬具（純額）	11,442	11,028
有形固定資産合計	96,138	91,430
無形固定資産		
ソフトウェア	1,046,417	1,066,884
ソフトウェア仮勘定	233,995	221,584
電話加入権	993	993
無形固定資産合計	1,281,405	1,289,462
投資その他の資産		
投資有価証券	2,498,102	2,498,161
敷金及び保証金	204,169	204,169
繰延税金資産	262,340	214,760
その他	5,028	4,238
投資その他の資産合計	2,969,640	2,921,329
固定資産合計	4,347,184	4,302,222
資産合計	6,119,600	5,903,223

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年 3 月 31 日)	当第 1 四半期会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1, 200, 000	1, 200, 000
未払金	330, 943	238, 928
未払費用	39, 245	72, 209
未払法人税等	235, 787	39, 788
未払消費税等	82, 056	79, 811
前受金	16, 435	2, 229
預り金	17, 560	108, 101
賞与引当金	141, 975	22, 755
株式給付引当金	7, 389	9, 852
役員賞与引当金	—	11, 613
役員株式給付引当金	22, 462	29, 950
流動負債合計	2, 093, 856	1, 815, 241
固定負債		
退職給付引当金	602, 499	631, 726
株式給付引当金	134, 190	134, 635
資産除去債務	19, 659	19, 698
その他	10, 869	30, 869
固定負債合計	767, 219	816, 929
負債合計	2, 861, 075	2, 632, 171
純資産の部		
株主資本		
資本金	783, 200	783, 200
資本剰余金		
資本準備金	1, 461, 260	1, 461, 260
資本剰余金合計	1, 461, 260	1, 461, 260
利益剰余金		
利益準備金	17, 397	17, 397
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	6, 899, 920	6, 911, 207
利益剰余金合計	6, 917, 317	6, 928, 604
自己株式	△5, 903, 252	△5, 902, 012
株主資本合計	3, 258, 524	3, 271, 052
純資産合計	3, 258, 524	3, 271, 052
負債純資産合計	6, 119, 600	5, 903, 223

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高		
役務収益	1,351,888	1,460,927
商品売上高	224	105
売上高合計	1,352,112	1,461,032
売上原価		
役務原価	937,981	1,037,632
商品売上原価		
当期商品仕入高	181	83
合計	181	83
商品売上原価	181	83
売上原価合計	938,162	1,037,716
売上総利益	413,950	423,316
販売費及び一般管理費		
業務委託費	29,514	27,846
給料及び手当	64,319	81,489
賞与引当金繰入額	2,220	1,550
役員賞与引当金繰入額	6,115	10,948
退職給付費用	1,660	2,896
株式給付引当金繰入額	—	1,381
役員株式給付引当金繰入額	—	7,487
法定福利費	7,529	8,161
賃借料	4,021	4,204
支払手数料	34,976	29,191
減価償却費	5,867	6,395
その他	27,486	30,239
販売費及び一般管理費合計	183,711	211,791
営業利益	230,238	211,525
営業外収益		
有価証券利息	7,110	6,303
雑収入	731	15
営業外収益合計	7,841	6,318
営業外費用		
支払利息	6,692	4,579
営業外費用合計	6,692	4,579
経常利益	231,388	213,264
税引前四半期純利益	231,388	213,264
法人税、住民税及び事業税	35,100	29,900
法人税等調整額	40,060	47,580
法人税等合計	75,160	77,480
四半期純利益	156,228	135,784

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	108,040 千円	109,432 千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

当社は、XNETサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。